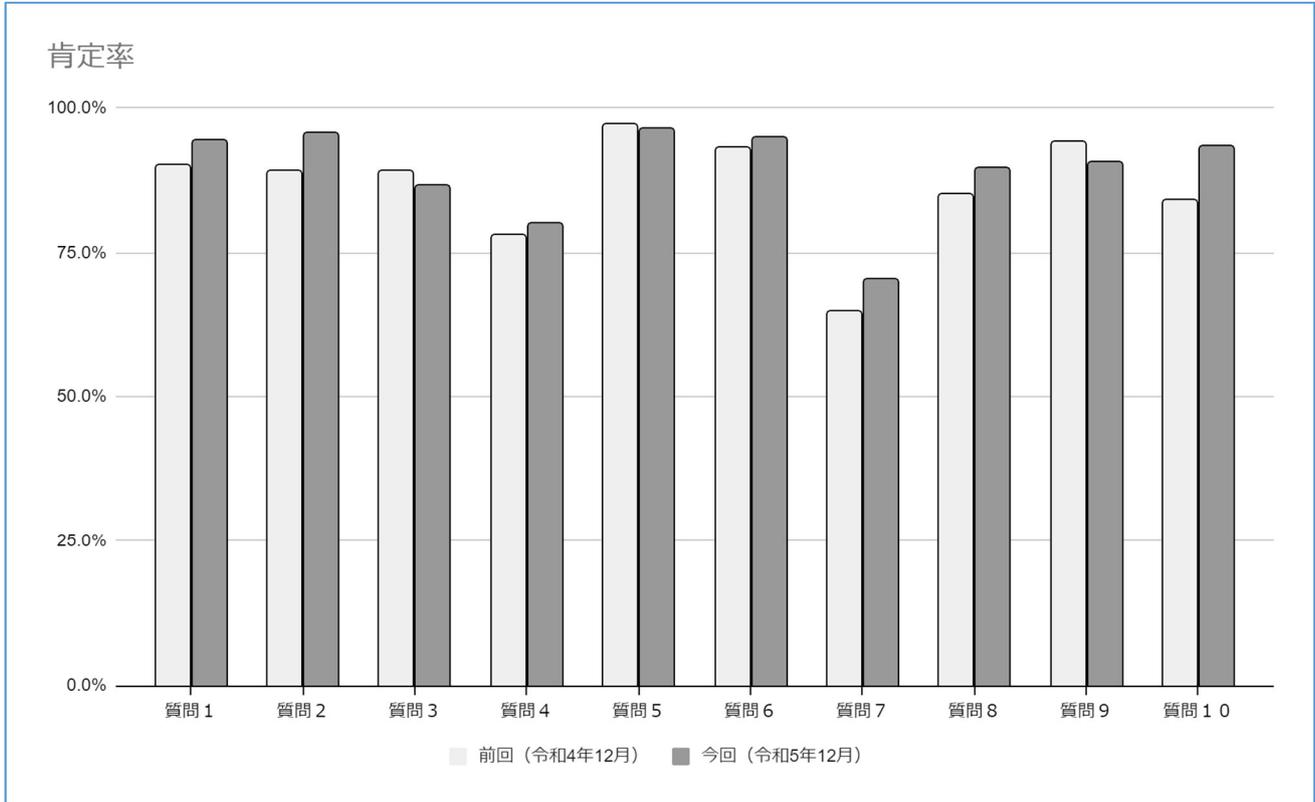


保護者各位

青梅市立霞台小学校
校長 佐藤 広明

よりよい学校づくりアンケートの結果について



質問 1	子供たちは、楽しく学校に通うことができている。
質問 2	学校の授業は充実していると感じている。
質問 3	子供たちは、挨拶やマナー・生活習慣をしっかり身に付けている。
質問 4	子供たちは、安全を意識して歩いたりヘルメットを着用して自転車を運転したりしている。
質問 5	学校は、学校だより・HP・メール等を通じて、学校の情報を伝えている。
質問 6	学校は、学年だより、・学級だより・HP を通じて、子供たちの学校の生活の様子を伝えている。
質問 7	子供たちは、家庭学習の習慣が身についている。
質問 8	学校は、毎週火曜日・木曜日のスタディタイムで、既習事項を確認して子供たちに算数の基礎・基本の定着を図る努力をしている。
質問 9	学校は、外遊びの励行、大縄週間の取組を通して、子供たちの体力向上に努めている。
質問 10	学校は、学級活動やいじめアンケートの取り組みなど、学校全体でいじめのない学校づくりを進め、対応している。

本年度は、昨年度と比較しやすいよう、新型コロナウイルス感染症防止対策に関連した内容を削除し、それ以外は同じ質問項目でアンケートを実施しました。結果は、昨年度とほぼ同じ傾向で、各項目の肯定率が向上しました。学校の教育活動に対し、昨年以上に理解をいただけたのではと感じます。

最も肯定率が高かったのは、昨年度同様、「質問5 学校は学校だより、HP、メール等で学校の状況を伝えている」で、96.5%でした。「質問6 学校は学年だより、学級だより、HP等で子供たちの学校生活の様子を伝えている」も95%と高く、ホームページを活用した情報発信が、学校の特色として認知され、定着したように感じます。毎日の更新を行い、保護者の方々に必要な情報を発信してきました。毎月のアクセス数も1.1万と伸びています。今後も、ホームページの充実を図っていきます。

この他、多くの項目で、昨年度よりも肯定的な結果でした。特に「質問10 学校は、学級活動やいじめアンケートの取り組みなど、学校全体でいじめのない学校づくりを進め、対応している。」では、93.5%でした。引き続き、いじめは重大な課題であると認識し、児童理解に努め、安心して子どもが通える霞台小学校を目指してさらに努力していきます。

また、本校の学力向上に対する取り組みに対しても、よい評価をいただきました。特に、「質問2 学校の授業は充実していると感じている。」の質問では、6.6%上昇し、95.7%になりました。外部講師や外部機関との連携を図った授業づくりや、タブレットやICT機器を積極的に活用していったことで、子どもたちの満足度が上がり、評価していただいたのではと考えます。学力の定着についてはまだ課題がありますが、授業の充実をさらに進めていけるよう、全校職員で授業力アップを図っていきます。

例年低い数値になっているのが、「質問7 家庭学習の習慣が身に付いている」ですが、それも昨年度に比べ5%上昇し、70%を超える肯定率になりました。子供たちが自ら学習に取り組むためには、学校と家庭の協力が不可欠です。努力や成果が見える状況づくりに努めて参ります。

さらに「質問8 学校は毎週火曜日・木曜日のスタディタイムで、既習事項を確認して子供たちに算数の基礎・基本の定着を図る努力をしている」でも、5%上昇しました。本年度は、タブレットを用いてスマイルネクストドリルに全校で取り組みました。学習理解を深められるよいツールを、今後も積極的に活用していきます。

学力向上への評価が高かった反面、「質問9 学校は 外遊びの励行、大縄週間の取組を通して、子供たちの体力向上に努めている」では、昨年度よりも肯定率が下がっていました。先日配布した体力テストの分析結果を見ても、本校が今後重点的に取り組むべき課題であることが分かります。現在も霞台スタンダードとして「中休みは外で遊ぶ」ルールになっていますが、鬼ごっこや縄跳びなど、楽しみながら体力向上を図れるよう、遊びの幅を広げていきます。

最後に、多くの方々の評価をもとに学校教育活動を見直していくことが必要です。今年度のアンケート回収率は昨年度より上がりましたが、100%にはなりませんでした。次回は100%の回答がいただけますようご協力ください。

また、たくさんのご意見ご感想もいただきました。全ての内容をまとめ、教職員で共有しました。ご指摘の部分は、これからの教育活動に活かし、対処できることは改善していきます。プラスのご意見は温かく頂戴し、よりよい学校づくりをさらに進めていきます。

↓は、昨年度、↑今年度

本年度はコロナ禍の中ですが、保護者の方に学校の教育活動を直接見てもらえるようにぎりぎりまで状況を見極め、実施できた行事が増えました。よりよい学校づくりアンケートも、昨年度同様、保護者の皆さんが回答できると思われる同じ内容で、実施しました。

また、今年度も感染拡大防止と回答のしやすさを考え、オンラインでの回答とさせていただきました。

結果は、昨年度とほぼ同じ傾向で、学校の教育活動に対し、理解をいただけた結果でした。最も肯定率が高かったのは、「問5 学校は学校だより、HP、メール等で学校の状況を伝えている」で、97.1%でした。者の方々の教育活動を参観する機会が少ない中で、学校からの情報発信が役に立ったということが察せられます。同様に、「問6 学校は学年だより、学級だより、HP等で子供たちの学校生活の様子を伝えている」も昨年より下がりましたが、93.1%と高い肯定率でした。これからもコロナ禍での教育活動が続くと思われまます。他校にない、ホームページを有効活用した、できるだけ多くの視点からの情報発信を続けていきます。

「問11 学校は、新型コロナウイルス感染防止の対応を行っている。」「問12 新型コロナウイルス感染対策のため、霞台小学校は他校よりも厳しい感染対策を継続しています。90%を超えていますが、自由意見の中で「学級閉鎖の情報を全校に知らせてほしい」という要望がありました。今後は、学級閉鎖の情報は、学年だけでなく全校にお知らせしていきます。

いじめのない学校づくりと対応(問10)は84.2%と肯定率が増加しました。引き続き、重大な課題であると認識し、安心して通える霞台小学校を目指してさらに努力します。

来年度も子供たちの学校生活は、制限のある状況が続くと思われまますが、一層教育活動を創意工夫して、「子供たちが通いたい学校」をつくっていきます。

学級の授業は充実している(問2)と感じていただいている割合が89.1%と昨年より5%高くなりました。基礎基本の定着を図る努力(問8)に関する部分も85%と昨年より上がっています。コロナ禍でも授業を充実させるため、外部講師や外部機関との連携を図り、タブレットの活用を進め、新しい形の授業に取り組みました。

挨拶やマナー、生活習慣が身に付いている(問3)の割合も89.2%と昨年より上がりました。学校では「あじみこし」を合言葉に学校生活の全てで意識して身に付けられるようにしています。4月に比べ、かなりの挨拶が学校で響き渡るようになってきました。特に低学年は、「こんにちは」と日常的に挨拶ができる子が増え、とても学校内が明るくなってきました。「問4 安全を意識して歩いたりヘルメットを着用したりして自転車の運転をしている」は昨年より7%上がり、79%の肯定率でした。2023年4月1日から全ての自転車利用者にヘルメットの着用が義務づけられることになりました。来年度に向けて安全対策をご家庭とともにさらに進めていきます。

「問7 家庭学習の習慣が身に付いている」は、昨年度よりさらに下がって64.7%で最も低い肯定率でした。学年ごとのデータでは、1年生は82.6%と最も高く、学年による差異が見られました。学年が進むほど、身に付けたい学習習慣が身に付かなくなっていく状況は、学習意欲や理解、学習成果に関わる重要なポイントです。

学校での授業の充実が教員が取り組まなくてはならないことですが、子供たちの自ら学習に取り組む習慣や姿勢は、一人一人の意識です。学校と家庭が協力して学習できる状況づくりを進めていくことが喫緊の課題です。

最後にオンラインの回答になり、回答しやすくなった反面、回答率が低下しました。多くの方々の評価をもとに学校教育活動を見直していくことが必要です。次回は100%の回答がいただけますようご協力ください。

また、たくさんのご意見ご感想もいただきました。全てのデータをまとめ、教職員で共有しました。ご指摘の部分は、これからの教育活動に活かし、対処できることは改善していきます。プラスのご意見は温かく頂戴し、よりよい学校づくりをさらに進めていきます。